

第47回全国公民館研究集会東京大会 開催要項

大会テーマ ミライにつながるひろげる公民館 —公民館に新たなイノベーションを！—

1. 趣旨

公民館は戦後初期に構想され、時代のさまざまな荒波を経て、間もなく 80 年目を迎えようとしています。

コロナ禍の中でデジタル化が飛躍的に進み、公民館の「つどう」「まなぶ」「むすぶ」という基本的な機能も、そうした状況を踏まえた一段高いステージへと進化しつつあります。また、公民館が、公民館的な別の施設に生まれ変わったり、所管が変わったりすることも増えてきており、公民館自体やその連合体のあり方もそれに応じたイノベーション(変革)が望まれています。

一方で、「まちづくり」「地域づくり」など、地域コミュニティに注目されることが増えてきているのも事実です。国の動きについても、総務省は地域運営組織・地域生活総合支援サービスを、厚生労働省は地域包括ケアシステム・地域共生社会づくりを、国土交通省は国土強靱化を、まち・ひと・しごと創生会議は小さな拠点づくりを、農林水産省は農村地域づくり事業体をおこなうなど、公民館活動に通じる施策が最近は増えています。

公民館活動はそのような動きと連動し、進展させていくとともに、地方分権の進展の中で、地域住民の自治能力を高め、連帯感の向上を図るなど、地域コミュニティの拠点としての公民館を、これからの時代にどのように創造していくかが問われています。公民館関係者は、公民館の存在意義を見つめ直し、昔ながらの公民館から脱却し、新しい公民館イノベーションを興し、推進していくことが求められています。

本大会では、全国の公民館関係者が東京に集い、公民館が抱える今日的課題を共有しながら、全国的な連携・連帯を深め、互いに切磋琢磨し、新しい発想で公民館活動の充実・発展につながることを目指します。

日本のミライを生きる人のために、いまを生きる人のために。これからも、公民館は過去の公民館を乗り越え、新しい公民館を創ります。

公民館の挑戦は、続きます。

2. 主催

公益社団法人 全国公民館連合会

3. 協賛

明治安田生命相互会社、

4. 後援

文部科学省(予定)、全国公民館振興市町村長連盟、社会教育団体振興協議会

5. 期日

令和7年11月12日(水)～13日(木)

6. 会場

東京国際フォーラム B7 ホール

7. 参加者

公民館及び社会教育・学校教育・教育行政・企業等の関係者・NPO、一般市民等

8. 開催方法

対面開催（ネット配信は、後日オンデマンド配信）

9. 参加費

3,000 円

※ネット配信は 2,000 円

10. 参加申し込み

2025年7月以降、ホームページでご案内します。

11. プログラム

※内容は予告なく変更されることがあります。

11月12日(水)会場受付(12:00～)

総合司会:村松真貴子(フリーアナウンサー)

1. アトラクション(13:00～13:20)

ぽこあぽこハンドベルアンサンブル

2. 式典(13:30～13:50)

開会のあいさつ

来賓あいさつ(文部科学省)

表彰(受賞者代表のみ授与)

3. 基調講演(14:00～15:00)

山崎亮さん(コミュニティ・デザイナー)

「地域のミライをひらく公民館」(仮)

休憩

5. シンポジウム(15:15～17:00)

「みんなで描く公民館のミライ」(仮)

登壇者:

コーディネーター:牧野篤さん(東京大学)

パネラー:河村潤子さん(元文部科学省生涯学習局長)

パネラー:山崎亮さん(コミュニティ・デザイナー)

パネラー:宮城潤さん(那覇市若狭公民館館長)

情報交換会(18:00～20:00):

会場:明治安田生命ビル

※200人予定(参加費:5千円予定)

※参加希望制

11月13日(木)会場受付(8:30~)

1. オープニング(9:00~9:05)

2. 座談会(9:05~10:35)

「多様な学びをつなぐ」(仮)

座談会 : 牧野篤さん(東京大学)

×アサダワタルさん(文化活動家)

×白鳥建二さん(全盲の美術鑑賞家)【交渉中】

休憩(10:35~10:50)

3. ムービー(10:50~11:20)

「若者が地域のミライを開く」(仮)

※公民館の未来は、若者が地域を受け継ぎ、引き継いでいくこと。
公民館を舞台に、若者が悩みながらも活躍している姿を映像で紹介。

4. 対談(11:20~12:20)

「公民館のミライをつなぐ」(仮)

対談: 牧野篤さん(東京大学)

×田中元子さん(グランドレベル)

5. 閉(12:20~12:30)